

マネジメント創造学部

マネジメント創造学科

教育基本方針

創立者である平生飢三郎の教育理念のもと、現代社会の要請に応えるべく、教養と品格を備え、総合的マネジメント能力を有し、社会に貢献できる人材の育成をめざします。総合的マネジメント能力とは、個々人が、自らの所属する組織、地域社会あるいは日常生活の中で、様々な問題に直面しつつ社会を生き抜くために必要となる、問題の本質を見抜き、個人あるいはチームとしてその問題解決に向けた適切なアクションを実行し、やり抜く力であり、複雑化する諸問題に怯まず立ち向かうことのできる汎用性の高い力、さらには自分自身を管理、成長させることをも含む総合的な能力を意味します。

卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。

マネジメント創造学部の教育方針のもと、卒業必要単位数 124 単位以上（基礎共通科目 8 単位 保健体育科目 2 単位 専門教育科目 114 単位以上）を修得し、次の能力・資質を身に着けた学生に学士（マネジメント）の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することで、自らを律し、他者と協調・協働することができます。先例や古い固定観念にとらわれず、異なる文化や考え方に対しても柔軟に対応することで、地域社会だけでなく広く国際社会で活躍することもできます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養と、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 「自ら学ぶ力」「共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」を涵養するとともに、経済、経営の専門的知識を仲間と共に、現実社会で実践することを通して、幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有しています。
- (5) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力、地域社会と国際社会に積極的に係わり、社会的責任を果たせる能力を有しています。
- (6) 事象の中から問題を発見して論理的に考察し、収集した情報を整理・分析し、それらを総合して問題解決を図る意志と能力を有しています。

教育課程編成・実施の方針

マネジメント創造学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、必要とする科目を体系的に編成し、講義や演習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、各科目において学生が修得した GPA 及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1) 教育内容

- (1) 建学の理念を学び、マネジメント創造学部の教育課程等の理解と、プロジェクト型学修と専門科目への基礎教育を目的とした「導入基礎科目」を配置します。
- (2) 国際性を意識した教育の充実と、国際社会に積極的に係わることでできる人材を育成するため、世界の経済・経営・文化について英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う少人数英語授業を実施します。
- (3) 英語能力の涵養のみならず、多文化理解を通じ、教養と品格ある国際人育成を目的とした「外国語科目」を配置します。
- (4) マネジメント創造分野に関する理解の一助とするとともに、物事を深く考えるための知的基盤形成を促すため、専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識及び多文化理解について学ぶ「基礎共通科目」を配置します。
- (5) 経済学・経営学をベースに理論と実践を融合したより実践的で創造的な学修と、海外での活躍を見据えた国際的実践力の習得を目的とした「実践・創造科目」を配置します。
- (6) 研究テーマや目的に応じたグループ学修による総合的マネジメント能力の育成を目的とし、テーマに沿ったレポートやプレゼンテーションを作り上げる演習形式の「研究プロジェクト科目」を配置します。
- (7) 「研究プロジェクト科目」で必要となる知識やスキルの習得を目的として「プロジェクト導入科目」を配置します。
- (8) 多様な社会経験を通じ学生の思考・視野を広げるあるいは社会性・国際性を培うことをめざし、海外留学、フィールドワーク、就業体験、ボランティア活動の機会を積極的に提供し参加を促します。
- (9) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えると同時に、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。
- (10) 学修成果を集大成する仕組みとそれを評価する仕組みとして、卒業論文等を完成させ、卒業研究発表会での発表までを行う「卒業研究プロジェクト科目」を配置します。

2) 教育方法

- (1) 1) に掲げた教育内容を身につけるために、講義や演習によって授業を実施します。マネジメント創造学部では、特に「自ら学ぶ」ことを重視するため、各専任教員の講義科目とプロジェクト科目を連携させることで、経済・経営分野における理論と実践の総合的理解をめざします。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習、演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。
- (4) 成績評価を GPA で表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

カリキュラムマップ												
卒業認定・学位授与の方針(DP)												
(1)	自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することで、自らを律し、他者と協調・協働することができます。先例や古い固定観念にとらわれず、異なる文化や考え方に対しても柔軟に対応することで、地域社会だけでなく広く国際社会で活躍することもできます。											
(2)	天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。											
(3)	人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養と、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。											
(4)	「自ら学ぶ力」「共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」を涵養するとともに、経済、経営の専門的知識を仲間と共に、現実社会で実践することを通して、幅広い分野で活躍できる総合的マネジメント能力を有しています。											
(5)	自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力、地域社会と国際社会に積極的に係わり、社会的責任を果たせる能力を有しています。											
(6)	事象の中から問題を発見して論理的に考察し、収集した情報を整理・分析し、それらを総合して問題解決を図る意志と能力を有しています。											
到達目標										対応する卒業認定・学位授与の方針(DP)の番号		
Z	人文科学、自然科学、社会科学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、専門分野と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。									(1) (2) (3) (5)		
A	マネジメント創造学部での学習に必要な論理的思考能力、文章作成能力、情報収集・活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を有している。									(1) (4) (6)		
B	国際社会へ積極的にいかかわるために必要な英語力と表現力、海外に留学するための実践的英語力、国際人に求められる幅広い知識と教養を有している。									(2) (5)		
C	経済・経営学分野の知識、公共政策に関わる知識や社会の現状、及び研究プロジェクト科目で必要となる知識について理論と実践をバランスよく学び、社会科学的視点による課題解決思考力を有している。									(3) (4)		
D	多様な人と協働し、合意形成や役割分担を適切に行いながら課題を解決することができ、成果をわかりやすく発表・報告する論理的表現力を有している。									(1) (5) (6)		
E	自己の特性や関心を的確に把握し、将来の進路や職業について検討する力をもとに、多様な働き方への理解を深め、自らのキャリア形成を主体的に計画・実行することができる									(1) (2)		
授業科目表 (マネジメント創造学部 マネジメント創造学科) [2026 年度 (令和 8 年度) の入学生に適用]												
授業科目名					単位数	配当年次	到達目標					
							Z	A	B	C	D	E
全学 共通 科目	基礎共通科目				*	*	○					
	保健体育科目				*	*	○					
*単位数、配当年次については、全学共通科目のカリキュラムマップに記載されている各科目を参照のこと 全学共通科目(基礎共通科目8単位、保健体育科目2単位)10単位												
専門 教育 科目	導入 基礎 科目	フ レ ー ム 形 成 科 目	C U B E入門	2	1		○					
			学びデザイン	2	1		○					
			ロジカル・シンキング	2	1		○					
			リサーチ・イントロダクション	2	1		○					
			経済学入門Ⅰ	2	1		○					
			経済学入門Ⅱ	2	1		○					
			経営学入門Ⅰ	2	1		○					
			経営学入門Ⅱ	2	1		○					
			I Tリテラシー	2	1		○					
		18 単位必修										
	外国 語 科 目	C o r e 科 目	Global Challenges	2	1			○				
			American Studies	2	1			○				
			Speech and Discussion	2	1			○				
			Discussion and Debate	2	1			○				
			CUBE English I	1	1			○				
			CUBE English II	1	1			○				
			Japan Studies	1	2			○				
			European Studies	1	2			○				

授業科目名				単位数	配当年次	到達目標							
						Z	A	B	C	D	E		
専門教育科目	導入基礎科目	外国語科目	C	Business Communication	1	2			○				
			o	Introduction to TOEIC	1	2			○				
			r	大学日本語入門Ⅰ	2	1			○				
			e	大学日本語入門Ⅱ	2	1			○				
		大学日本語入門Ⅰ・Ⅱを除く14単位必修 ただし、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生は、「大学日本語入門Ⅰ」「大学日本語入門Ⅱ」4単位を修得しなければならない。「大学日本語入門Ⅰ」「大学日本語入門Ⅱ」を履修する場合、「Speech and Discussion」「Discussion and Debate」4単位は履修できない。											
		外国語科目	A	Media Studies	2	2			○				
			p	English for Business Contexts	2	2			○				
			p	Studies in Literacy	2	2			○				
			l	Cross-Disciplinary Studies	2	2			○				
			i	English as a Second LanguageⅠ	2	2			○				
			e	English as a Second LanguageⅡ	2	2			○				
			d	English as a Second LanguageⅢ	2	2			○				
		実践・創造科目	経済学の実践		産業と規制	2	2				○		
					経済と社会	2	2				○		
				雇用と賃金	2	2				○			
				こころと経済	2	2				○			
				地球環境政策	2	2				○			
				公共政策	2	2				○			
				国際金融と貿易	2	2				○			
				経済成長と国際協力	2	2				○			
				ミクロ経済と現代社会	2	2				○			
				マクロ経済と現代社会	2	2				○			
	経営学の実践			組織論	2	2				○			
				イノベーション・マネジメント	2	2				○			
				経営財務分析	2	2				○			
				戦略論	2	2				○			
				会計基礎	2	2				○			
				会計応用	2	2				○			
				ファイナンス基礎	2	2				○			
				コーポレートファイナンス	2	2				○			
				マーケティング基礎	2	2				○			
				マーケティングとCSR	2	2				○			
				マーケティングリサーチ	2	2				○			
				消費者行動	2	2				○			
				NPO	2	2				○			
			中小企業経営	2	2				○				
	社会の現状認識			社会問題と思想	2	2				○			
				社会問題と制度	2	2				○			
				都市政策	2	2				○			
				社会保障	2	2				○			
				少子化と人口問題	2	2				○			
				国際関係と多文化共生	2	2				○			
				国際通商	2	2				○			
				ビジネスと法	2	2				○			
	C A L A			Academic Foundations Workshop (CALA)Ⅰ	4	1				○	○		
				Academic Foundations Workshop (CALA)Ⅱ	4	1				○	○		
				Academic Foundations Workshop (CALA)Ⅲ	4	2				○	○		
				Academic Success Workshop (CALA)	2	3				○	○		

授業科目名				単位数	配当年次	到達目標					
						Z	A	B	C	D	E
専門教育科目	実践・創造科目	グローバル実践	Academic Subjects I	2	2			○	○		
			Academic Subjects II	2	2			○	○		
			Academic Subjects III	2	2			○	○		
			Academic Subjects IV	2	2			○	○		
			Academic Subjects V	3	2			○	○		
			Academic Subjects VI	3	2			○	○		
	以上のうち、24 単位以上選択必修										
	プロジェクト科目	プロジェクト導入科目	数学的論理思考	2	1				○		
			芸術と多文化理解	2	1				○		
			科学技術と倫理 I	2	1				○		
			科学技術と倫理 II	2	2				○		
			I T の実践	2	1				○		
			情報の科学	2	1				○		
			データ分析の実践	2	1				○		
			データ分析とプログラミング	2	2				○		
			社会調査	2	1				○		
			政策評価の手法	2	1				○		
英語で学ぶ経済学			2	1				○			
英語で学ぶ経営学			2	1				○			
Liberal Studies in English			2	1				○			
Regional Studies			2	1				○			
以上のうち、6 単位以上選択必修											
プロジェクト科目	研究プロジェクト科目	パブリック研究プロジェクト B I	6	2					○		
		パブリック研究プロジェクト B II	6	2					○		
		パブリック研究プロジェクト B III	6	3					○		
		パブリック研究プロジェクト B IV	6	3					○		
		パブリック研究プロジェクト B V	6	4					○		
		ビジネス研究プロジェクト B I	6	2					○		
		ビジネス研究プロジェクト B II	6	2					○		
		ビジネス研究プロジェクト B III	6	3					○		
		ビジネス研究プロジェクト B IV	6	3					○		
		ビジネス研究プロジェクト B V	6	4					○		
		グローバル研究プロジェクト B I	6	2					○		
		グローバル研究プロジェクト B II	6	2					○		
		グローバル研究プロジェクト B III	6	3					○		
		グローバル研究プロジェクト B IV	6	3					○		
		グローバル研究プロジェクト B V	6	4					○		
		超領域研究プロジェクト B I	6	2					○		
		超領域研究プロジェクト B II	6	2					○		
		超領域研究プロジェクト B III	6	2					○		
		パブリック研究プロジェクト A I	4	2					○		
		パブリック研究プロジェクト A II	4	2					○		
		パブリック研究プロジェクト A III	4	3					○		
		パブリック研究プロジェクト A IV	4	3					○		
		パブリック研究プロジェクト A V	4	4					○		
		ビジネス研究プロジェクト A I	4	2					○		
		ビジネス研究プロジェクト A II	4	2					○		
		ビジネス研究プロジェクト A III	4	3					○		
		ビジネス研究プロジェクト A IV	4	3					○		
		ビジネス研究プロジェクト A V	4	4					○		
		グローバル研究プロジェクト A I	4	2					○		
		グローバル研究プロジェクト A II	4	2					○		

授業科目名				単位数	配当年次	到達目標					
						Z	A	B	C	D	E
専門教育科目	研究プロジェクト科目	グローバル研究プロジェクト A III	4	3					○		
		グローバル研究プロジェクト A IV	4	3					○		
		グローバル研究プロジェクト A V	4	4					○		
		超領域研究プロジェクト A I	4	2					○		
		超領域研究プロジェクト A II	4	2					○		
		超領域研究プロジェクト A III	4	2					○		
	以上のうち、12 単位以上かつ 3 科目以上選択必修										
	プロジェクト科目 フィールドワーク科目	国内短期フィールドワーク I	2	1					○		
		国内短期フィールドワーク II	2	1					○		
		国内短期フィールドワーク III	2	1					○		
		国内短期フィールドワーク IV	2	1					○		
		国内短期フィールドワーク V	2	1					○		
		国内中期フィールドワーク I	3	1					○		
		国内中期フィールドワーク II	3	1					○		
		国内中期フィールドワーク III	3	1					○		
		国内長期フィールドワーク I	4	1					○		
		海外短期フィールドワーク I	2	1					○		
		海外短期フィールドワーク II	2	1					○		
		海外中期フィールドワーク I	3	1					○		
		海外中期フィールドワーク II	3	1					○		
		海外中期フィールドワーク III	3	1					○		
		海外長期フィールドワーク I	4	1					○		
		海外長期フィールドワーク II	4	1					○		
		海外長期フィールドワーク III	4	1					○		
		海外長期フィールドワーク IV	4	1					○		
	以上のうち、30 単位以上選択必修										
	プロジェクト科目	卒業研究プロジェクト	8	4					○		
	以上のうち、8 単位必修										
	キャリア関連科目	ボランティア体験 I	4	1						○	
		ボランティア体験 II	4	1						○	
		ボランティア体験 III	2	1						○	
		ボランティア体験 IV	2	1						○	
		CUBE ジョブトライアル I	4	1						○	
CUBE ジョブトライアル II		4	1						○		
CUBE ジョブトライアル III		2	1						○		
CUBE ジョブトライアル IV		2	1						○		
コミュニケーション支援 I		2	2						○		
コミュニケーション支援 II		2	2						○		
コミュニケーション支援 III		2	2						○		
コミュニケーション支援 IV		2	2						○		
コミュニケーション支援 V		2	2						○		
特設科目	特設科目 I	2	3						○		
	特設科目 II	2	3						○		
	特設科目 III	2	3						○		
留学特設科目	外国留学科目 I	2	2						○		
	外国留学科目 II	2	2						○		
	外国留学科目 III	3	2						○		
	外国留学科目 IV	3	2						○		
外国語科目 中級・上級	大学日本語中級 I	4	2			○					
	大学日本語中級 II	4	2			○					
	大学日本語上級 I	4	3			○					
	大学日本語上級 II	4	3			○					
専門教育科目 114 単位以上											
卒業必要単位数 124 単位以上											